

OCP セミナーアンケート集計結果(2014年4月30日実施セミナーより)

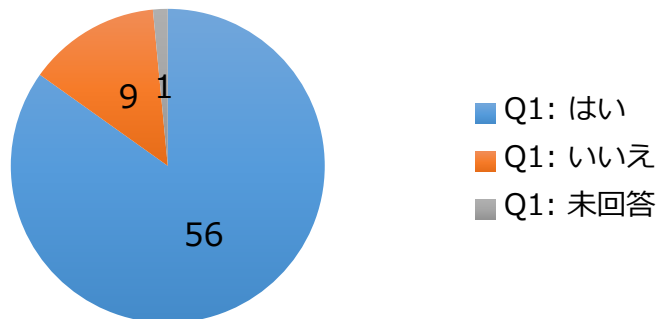
多くの皆様にアンケートのご回答をいただき誠にありがとうございます。

セミナーアンケートにお書きいただいたコメントはすべて FSC 本部と共有しています。

こちらの集計結果では一部のコメントを抜粋して掲載しています。重複した内容のコメントはまとめさせて頂いています。

※赤字は FSC の OCP 担当者による回答です。

このセミナーで目的の情報を得る事が出来ましたか？



「はい」と回答した方の理由(一部抜粋)：

- ・大まかな状況は理解できた。
- ・OCP 義務化が白紙となっていると確認できた。不備な状態のまま義務化に向かっていないので一安心。
- ・12月以降の進展をふまえた状況を知る事ができた。
- ・他の認証取得者がどう考えているのかわかった。
- ・OCP が何故必要なのか理解できた。国際基準とは日本国内の都合だけでは通らない。一方、安全性が担保されないのであれば、FSC の必要性についても疑問が出てきた。

「いいえ」と回答した方の理由(一部抜粋)：

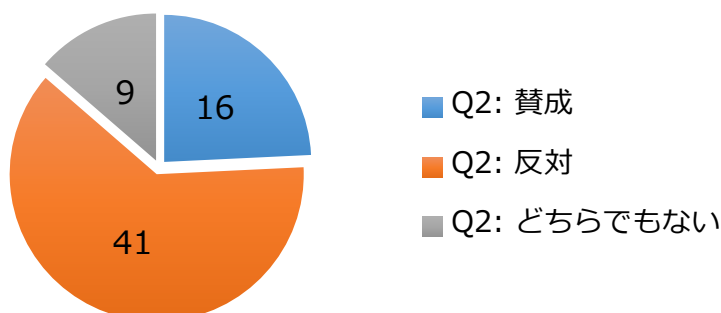
- ・OCP の運用面における個別事案（具体的な運用）について期待していた程の情報量では無かった。

⇒具体的な運用についての質問は、個別に FSC ジャパンまでお寄せください。

- ・大まかにはわかったが、細かい部分での情報が不足していたので実際に入力して確認したい。
- ・昨年から提供されている情報からあまり変更がなかった。どこが改善したのか不明。
- ・情報セキュリティに関して新しい情報が得られなかった。

⇒必要であれば、情報セキュリティについての具体的な質問にも答えますので FSC ジャパンまでお問合せください。

OCPの導入についてご意見をお聞かせください。



「賛成」と回答した方の理由(一部抜粋)：

- ・作業量軽減と信頼度向上につながる。
- ・取扱量取りまとめの作業負担が軽減出来そう。
- ・全ての認証取得者が同じ方法で登録、集計でき、透明性も高まる。
- ・COCの信用度アップにつながり良い事だから。
- ・早急に全認証取得者が対応すべき。導入に急ぐ中で、生じた問題へ対応していったら良い。
- ・任意なら賛成。
- ・現在の審査に問題があるのは理解しているので。ただし本格的な導入までには十分な期間を取るべきであり、有効なシステムとなるよう多くの意見を取り入れるべき。
- ・完全義務化でないと意味が無い。

「反対」と回答した方の理由(一部抜粋)：

- ・費用面でも、人的作業面でも負担増加分とOCPから得るメリットが合わないと思います。
⇒多くの認証取得者が負担軽減につながるという意見も寄せています。可能であれば、OCPのテストをしていただき、実際にどの程度作業面の負担が増えるのか減るのかをお知らせください。
- ・義務化については反対。OCPによるメリットが取引情報を出すリスクを上回る事が無いから。
⇒紙ベースの請求書保管にもリスクがある中、そのリスクを最小限にするよう企業が努力するように、OCPにおいてもFSCとHF社で情報セキュリティに関するリスクを最小化するよう努めています。例えば、ISMSの取得や定期的な各種セキュリティテストの実施をしています。HFではISMSの要求に基づき、近いうちに情報セキュリティに関する報告書を公開する予定ですが、個別の質問に対してはいつでもお答えいたします。
- ・メリットよりデメリットの方が多い。
⇒FSCではOCPがメリットのあるものになるよう開発をしてきます。認証取得者からのアイデアは非常にありがたいので、どのようにOCPを用いて手間を減らせるか一緒に考えてください。

・導入の目的は理解しておりますが、それに対して増加する作業量が見合っていないと考える。ただし比較的厳格性を求めるクライアントは満足するのではないかと思うので、任意での導入までは反対しない。

・あくまで性善説の立場と取ると、負担ばかりが増える仕組みだと感じる。

・コンピューターによる手法が仕事を少なくする目的だが、その事で逆の事もありえる。

・入力の負担が大きい。

⇒具体的にどのように入力の負担が大きいのかをお知らせください。OCP 開発の際の参考とし、解決方法を検討いたします。

・入力の負担が大きい。

・社内のコンセンサスを取る事に労力を強いられる。

・導入する意義は理解できるが、不正製品に対する有効な手だてとは思えない。結局請求書ベースでの入力やり取りでは事前に防ぎようがない。

・年次審査で見発できないからと、OCP による月次での入力、承認作業が義務化されても、それでも不正があるならと日々リアルタイムでの入力承認へ進んでいく懸念を感じる。

・システムとしてまだ確定していない事が多すぎる。日本での運用におけるシミュレーションが不十分。

⇒OCP は現在テストが可能な状態ですので、是非お試しください。

・現在独自にトレーサビリティ監査を実施している。OCP は今まで以上のコストをかけることになる。

⇒現在の CoC 制度では不十分であり、独自のトレーサビリティ監査が必要であるという状況に関心があります。OCP の開発方法次第では、独自のトレーサビリティ監査の代替になる可能性があるのか是非ご相談ください。

・OCP が導入されると仕入先が認証を辞めてしまうかもしれない、そうすると自社も辞めざるを得ない。

・一律に CoC 事業者への義務を課す事に納得ができない。日本以外の地域の問題を捉える策を一斉に導入するのは納得出来ない。

・FSC 認定管理量が大幅に値上げされた中で、さらに人的コストはかけられない。

現在の CoC 規準のオリジネーションエラーを無くすために、OCP に代わるアイデアがございましたらお教えください。

- ・違反した悪質な COC 認証取得者のみ、OCP を一定期間義務化。¥
- ・顕著なエラー、悪質なエラーを抽出して直ちに対応すべきだが、悪質でないもの、小さな誤差は徐々に埋めていく方が良い。
- ・不正な利用が無いチェックをしたり、取り締まる組織やチームが必要だと考える。
- ・顧客に請求書にサインをもらい返送してもらえばオリジネーションエラーは防げるのではないか。
- ・OCP を導入した FSC-OCP トレードマークを既存とは別に作り、商品に付加代金をつける差別化と OCP を導入した企業へ還元。
- ・苦情の多い地域、国の特定とリスクに応じた対応。
- ・不正をする企業を特定できるよう、認証機関による認証取得者の汚職度調査を制度に組み込む。
- ・販売事故について、違反した会社を公表することを FSC の責任とする。FSC の徹底した対応を明確にすれば、環境団体に対してもアピールになる。
- ・請求書のすりかえについては罰則の強化、有効性確認漏れについては現行の HP システム内で公表を強化。
- ・企業との秘密保持に抵触しない範囲での審査機関サイドでの情報共有。

以上

アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

FSC ジャパンスタッフ一同